

あさがおニュース

142号 1月発行



CONTENTS

新年のご挨拶

初詣

デイサービス

~クリスマス会

グルメ旅(千葉らぁ麺ごはん)

新年あけましておめでとうございます。

月寒あさがおの郷
施設長 菊地 裕一

日頃より当施設の運営に際しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2023 年は、新型コロナが 5 類に移行し約 3 年に渡るたたかいにやっと一定程度の区切りがつけられ、マスクなしの生活や地域イベントの再開など徐々に以前の生活スタイルを取り戻し、希望の光が見えはじめた1年となったのではないのでしょうか。

また、日本のスポーツにおいては 14 年ぶりの WBC 侍ジャパン優勝や W 杯での男子バスケ躍進、北海道においてもエスコンフィールド北海道の開業といった明るい話題が記憶に残っております。一方で長期化するウクライナの戦争や円高、物価高騰といった生活苦。線状降水帯発生による豪雨災害や札幌でも最高気温 36.3 度を記録した猛暑など地球温暖化が日常生活に大きな影響を与えていることを実感した 1 年でもありました。

当施設においても、引き続き難しい施設運営のなか徐々にではありますが、コロナとの共存を意識した新たなスタイルを模索し取り組みをスタートしましたが、そのようななかで開設より「月寒あさがおの郷」の礎を築き発展に寄与された一柳施設長の異動は一大ニュースであり、ご利用者、ご家族をはじめ職員、地域の皆様にとって衝撃的な出来事であったと思います。

さて、2024 年は 6 年に 1 度の医療・介護・障がいのトリプル報酬改定が行われます。この改定は、報酬の見直しのほか事業者に対してサービス内容の見直しや新たな取り組みが求められるもので施設運営に大きな影響となります。当施設においても、この改定を転換期と捉え、改定内容に沿いご利用者、ご家族にとってより良いサービス提供となるよう必要な体制、対策を進めて参ります。

最後に今年の干支は「甲辰(きのえたつ)」。春の温かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ急速な成長と変化を誘う年、これまでの努力が実り、夢がかないやすいと言われております。干支にあやかり、昨年からの取り組みをより進化させ、感染症と共存しながらご利用者やご家族が以前と変わらない当たり前の日常生活を送れるよう職員一同努力して参ります。

本年が皆様にとりまして、より良き年となりますよう、ご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

初詣



1月5日にご入居者の初詣を実施しました。
皆さん手を合わせて、一生懸命お祈りされていました。運試しにおみくじも引いてもらい、楽しまれている様子でした。



デイサービス



12月26日(火)にクリスマス忘年会を行いました。
職員による「ドリフ早口言葉」や「ピンクレディ」「オヨネーズ」のものまねがあったり、かわいいジャンボリミッキーの踊りを全員で踊り、楽しい時間となりました。また、サンタクロースとトナカイからクリスマスプレゼントが配られ、たくさんの笑顔を見ることが出来ました。



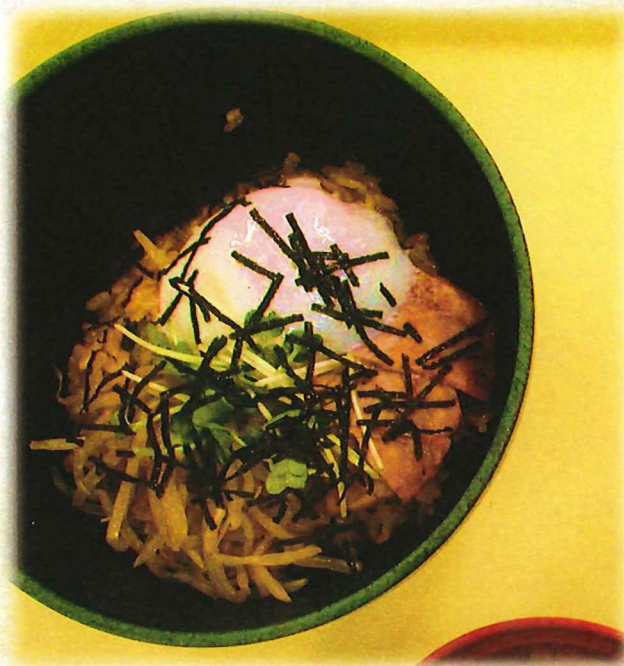
1月25日(木): 特別入浴デー

※ご利用者の人数の関係上、他の曜日からの参加はできませんのでご了承ください。

グルメ旅



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」



千葉県発祥のご当地グルメ 「千葉らぁ麺ごはん」

第12回（全国ご当地どんぶり選手権）に千葉県代表として出場した、【千葉らぁ麺ごはん】を提供しました。

千葉県のご当地ラーメンの千葉らぁ麺が井となった料理で、醤油ラーメンスープで炊いたご飯の上に、もやし、焼豚、温泉卵などのラーメンの具材を盛り付けています。（*千葉らぁ麺の定義・・・①千葉県産の醤油を使用する。②千葉県の製麺所を使用する。③千葉県産の野菜を使用する。）

千葉らぁ麺の定義通りに、食材を揃えるのが難しかったので、手に入る食材を使用し雰囲気を楽しんでいただきました。

～お知らせ～

今号以降、あさがおニュースは隔月発行とさせていただきます。
次回は3月発行となります。

編集後記

昨年は年男でしたが特に何も良いことは無かったので、今年は良いことがあるようにと初詣に行ってきました。（山玉）

社会福祉法人 漢仁会
月寒あさがおの郷

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

☎011-858-3333 発行責任者 菊地 裕一

施設ホームページ URL <https://www.keijinkai.com/asagao/>

※この広報誌への掲載写真は予め承諾を得て掲載させていただいております。

